

【議事】定29

(3) スペースシャトルの状況について

先ず、資料 29-3-1(STS 外部燃料タンク断熱材剥離)を JAXA の武内信雄 有人システム安全・ミッション保証室長が説明したあと、下記のようなやり取りがあった。

対策により落下物の総重量は圧倒的に減少し、一箇所からの剥離の最大重量も大幅に減少したようである。オービターに当たっても大丈夫な小さな落下物が有り、更に対策を続行しているようである。

井口：外部燃料タンクは使い捨てなのか。

JAXA 武内：使い捨てである。

井口：武内さんは保証室長であるが、実際のシステムを保証するのではない。英語から翻訳してそのようになっているのであろうが、名称がおかしく¹はないか。

JAXA 山浦:(品質保証システムを説明するが聞いてもらえていなかった。)

次に、資料 29-3-2(ISS 組立て再開に向けた STS ミッション)

¹ 「どのような取り組みを行えば、品質（または製品）を保証したことになるのか」と云う手法について研究(情報収集)し、JAXA のプロジェクトチームの構成員を教育するのが役目であろう。一般市販品においても保証室が責任を取る話はない。名称はおかしくない。

を JAXA の山浦雄一 有人宇宙環境利用プログラム推進室長が説明したあと、下記のようなやり取りがあった。

井口：「きぼう」が控えているので、是非成功するよう期待しています。

(4) 月周回衛星 (SELENE) に係るシンポジウムの開催結果について

資料 29-4(SELENE シンポジウム)を JAXA の井上先生が説明した。井口委員長から励ましの言葉があった。

井口：盛況であったとのこととで喜ばしい。今後も何かやっているのか。

井上：機会を見つけ、どんどんやって行きたい。

(5) その他

宇宙開発の現状報告には何の質問も出ず、前回の議事録は異議なく承認された。